主催：守谷市　協力：守谷の地域防災を考える会、守谷市消防団、守谷消防署、南守谷出張所

大切な人を「守りたい」から「守れる」に

平成26年度

守谷市「発災対応型防災訓練」

○問合先　市役所交通防災課　交通・防災G　内線 138

市では、東日本大震災や阪神・淡路大震災の教訓・実例を踏まえ、地域で行う**「発災対応型防災訓練」**を実施します。

従来は、参加者が一堂に集まり、初期消火活動や応急救護訓練などを実施していましたが、このような会場型防災訓練は、毎回変化が少なく、参加者も受動的な訓練になりがちで、マンネリになりやすい欠点があります。

一方、**「発災対応型防災訓練」**は、シナリオのない現実的な初動対応訓練です。実際の災害時には、近くの一時避難場所（公園や自治会館等）や避難所に避難する間に、火災に遭遇し、消火活動を求められるかもしれません。また、道路がふさがれて先に進むことができなくなっていたり、近くで助けを求める人の声が聞こえてくるかもしれません。予測しない事態が次々に起こってくるのが**「実際の災害」**なのです。

「発災対応型防災訓練」は、各自の判断で行動しなければならないため、実際の災害に対して即時対応能力が養われるといった利点があります。

過去の教訓から分かることは、被災直後に役立つものは「地域の絆」であり、地域で助け合う環境を整えていくことが重要であるということです。この訓練は、普段の生活の場である自分たちの地域での災害を想定して、地域住民の防災行動力の向上を図ることを目的としています。

今回の訓練は、事前に自治会長宛ての通知に対して、希望した自治会や自主防災組織で実施されます。

「自主防災組織などの取り組みをまだ実施していない」「これから組織結成を考えている」自治会の方は、今後の地域の防災力に繋がりますので、ぜひ参観してください。

参観を希望する地区の方は、交通防災課までご連絡ください。

◎発災対応型防災訓練

▶実施日時　9月7日(日) 11:00 ～

▶実施地区　事前に実施を希望した自治会・自主防災組織

▶訓練想定　茨城県南部を震源とする直下地震が発生（震度6強）

▶訓練内容　発災対応型防災訓練

※訓練内容は地域の実情によって多少異なる

【自治会・自主防災組織】

- 地震発生⇒自分の身を守る（自助）
- 近所への声かけ（共助）
- 一時避難場所へ参集
- 自治会の災害対策本部を開設
- 自治会区域内の調査活動
- 地域内負傷者救助、負傷者応急手当、初期消火
- 被害状況の報告や市からの情報収集・伝達

【市・関係機関】

- 守谷市災害対策本部設置訓練
- 消防団の受け持ちエリア内情報収集伝達訓練

全自動洗濯機・二槽式洗濯機を愛用の皆さまへ指を

大けが

する事故に気を付けてください！

完全に止まる前に取り出そうとすると、洗濯物が指に絡まり、大けがをする恐れがあります。

洗濯機・脱水機が確実に停止してから、洗濯物を取り出してください。

ゆっくりとした回転であっても、危険です。

▼問合先（一社）日本電機工業　☎03・3556・5887